

令和元年度 第1回都島区区政会議まちづくり・魅力部会 会議録

1 日時 令和元年12月16日（月）午後7時～午後8時25分

2 場所 都島区役所 3階会議室

3 出席者

（区政会議委員）

山田委員・早光委員・西村委員・能勢委員・寺川委員

（都島区役所）

大畑区長・嶋村副区長・西岡政策企画担当課長・金森まちづくり推進課長

松井防災地域活性担当課長・中尾政策企画担当課長代理

4 議題

(1) まちづくり・魅力部会の進め方について

(2) 魅力発信・創出の取組について

5 会議次第

(1) 開会（大畑区長挨拶）

(2) 議事

【中尾課長代理】

それでは、皆さんこんばんは。

定刻が参りましたので、ただいまより令和元年度第1回都島区区政会議まちづくり・魅力部会を始めさせていただきます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます都島区役所総務課政策企画担当課長代理の中尾でございます。よろしくお願いいたします。

それでは初めに、区長の大畑よりご挨拶をさせていただきます。

【大畑区長】

どうも皆さん、改めましてこんばんは。区長の大畑でございます。

本日は、ご多用の中、この部会のほうに参加いただきまして、本当にありがとうございます。

前回、全体での区政会議が10月24日でしたので、まだ二月はたっていないんですが、かなり日付がたつてしまつて大変申しわけないです。またしっかりと、きょうが部会のスタートということで、始めていき

たいというふうに思っております。

安心・つながり・地域福祉部会のほうが12月4日に行われまして、きょうこのまちづくり・魅力部会、そしてあした、教育・子育て部会ということで、部会のほうが第1回がスタートを切っていくという形になっています。

皆さん、この後、議長を決めたりさまざまこれから議論を始めていくんですが、やはり私としては、特にこの部会は公募の方が多数いらっしゃいます。もちろん地域の代表の方もいらっしゃるんですが、ぜひ屈託のない、いわゆる斬新な意見といいますか、外から見ていろんなアイデアをいただけたらうれしいなというふうに思っています。

ただ、後で資料の説明もあるんですが、今進めているものもありますし、ある程度今決まって途中展開しているものもありますので、なかなか大きくいきなり変えるということができない制約があるものもあるんですが、ぜひ皆さんの意見、アイデアをいただきたいなというふうにいつも思っておりますので、ひとつきょうはどうぞよろしくお願いいたします。

私からは以上です。

【中尾課長代理】

ではここで、委員の皆様にご挨拶の進行につきましてお願いがございます。議事録等の作成のため、事務局で会議の様子を録音、撮影させていただいております。また、本日の部会はインターネットの配信も行っております。以上、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

それでは、定足数の確認をさせていただきます。本日の会議には委員定数6名のうち5名が出席されていますので、定足数を満たしておりますことをご報告いたします。

本日、田淵委員におかれましてはご欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。

まず、お手元に本日の座席表でございます。続きまして、次第の載っている1枚物の紙、右肩に資料1と振っておりますA4縦のまちづくり・魅力部会の進め方について、続けてページをめくっていただきますと、資料2ということで、魅力発信・創出の取組についてということで続いております。これが合計、ページだったら3ページ分でございます。最後に参考資料1と振っておりますA4縦の連合町会別人口・世帯数ほかの統計資料となっております。皆さん、お手元のほう大丈夫でございますでしょうか。ありがとうございます。

なお、本日、議員の皆様におかれましては欠席のご連絡をいただいております。

それでは、本日ですが、委員の皆様も部会としては初顔合わせになりますので、ちょっとお手数ですが、皆様に一言自己紹介をお願いできましたらと存じます。

それでは、初めに寺川委員のほうからよろしくお願いいたします。

【寺川委員】

皆さん、こんばんは。近畿大学の寺川です。よろしくお願いいたします。

私も区政会議、何年目でしたっけ。

【西岡課長】

3年。

【寺川委員】

3年お手伝いさせていただいたんですが、部会は初めてでして、こういう形で皆さんの意見をもう少しざっくばらんな形でテーマごとにお伺いできるのを楽しみにしておりますので、よろしくお願ひいたします。

【中尾課長代理】

次に左側に、続いて山田委員、お願ひします。

【山田委員】

地域代表として出ております山田といいます。よろしくお願ひします。

【早光委員】

公募で応募しました早光と申します。住まいは東都島地区でございます。京橋に隣接する地区でございますので、よろしくお願ひいたします。

【西村委員】

西村です。よろしくお願ひします。高倉に住んでいます。子供2人で、子育てをしておるような状況です。よろしくお願ひします。

【能勢委員】

能勢です。中野町、地元に住んでおります。本当に何もわからない状態で、全く素人目線でしか物が言えないんですが、どうぞよろしくお願ひいたします。

【中尾課長代理】

ありがとうございました。

じゃ、すみません、座ってここからさせていただきます。

ではここで、条例の第7条に基づきまして、議長と副議長を互選により選出することとなっております。皆様のどなたか立候補またはご推薦等はございますでしょうか。

【西村委員】

よければ先生に。

【中尾課長代理】

寺川委員にぜひいかがですかというご推薦がございましたが。寺川委員でよろしいですか。

【寺川委員】

よろしくお願ひします。

【中尾課長代理】

ありがとうございます。寺川委員、議長よろしくお願ひします。

では、続きまして副議長なんですけれども、いかがでしょうか。

もしないようでしたら、事務局のほうからご推薦ということで、地域の山田委員にお願ひをしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【寺川議長】

お願いします。

【山田委員】

じゃ、よろしく。

【中尾課長代理】

よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、お二人に議長、副議長をお願いするということで、よろしく願いいたします。

それでは、ちょっと議長と副議長に進行の説明を行いますので、ただいまより10分、時間にして、あそこにある時計で7時15分から始めたいと思います。

そしたら、一旦中断をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

(休 憩)

【中尾課長代理】

では、大体時間になりましたので、再開したいと思います。

ここから寺川議長に議事運営をお願いいたします。

【寺川議長】

では、皆さんよろしく願いいたします。

今回、議題が2つ出ておりますので、皆さんの活発なご意見をいただきたいと思います。時間は大体8時半ぐらいになっていますので、よろしく願いいたします。

では、早速ですが、議題1、2とありますが、まとめて報告していただいて、その後、皆さんに意見を伺いたいと思いますので、よろしくお願いします。

【西岡課長】

それでは、私のほうから議題について説明をさせていただきます。私、都島区役所政策企画担当課長の西岡と申します。

失礼ですが、座って説明をさせていただきます。

それでは、ご説明いたします。

資料1の1ページをごらんください。まちづくり・魅力部会の進め方についてでございます。

まちづくり・魅力部会につきましては、10月24日開催の区政会議全体会議におきまして、3つの部会の一つとしてご承認いただきました。委員の皆様より専門的な意見交換を通じて効果的かつ効率的な区政会議の議論に資するために、必要に応じて開催し、全体会議でその内容を報告することとしております。

このまちづくり・魅力部会におきましては、まちづくりや区の魅力など、区民の方と一緒に取り組む事項の中からテーマを絞ってご議論をいただきます。

会議の流れにつきましては、まず、区役所がお示しする、これから取り組む事業や予算の案についてご意見をいただきます。また、部会の運営について評価をいただくこととなります。これに対して右側、区役所の対応としましては、いただいたご意見や意見交換の内容を区政会議全体会議に報告し、事業改善など可能なことにつきましては随時反映してまいりたいというふうに考えております。

次に、活動予定でございますが、部会において区政会議委員を中心に、必要に応じて有識者や関係者にもご参加いただき、その内容を区政会議全体会議に報告し、区政運営に反映をいたします。

会議の開催時期ですが、元年度中に2回、2年度中に2回、合計4回程度開催したいと考えております。特に2年度は、区の将来ビジョン策定に向けたご意見もいただきたいと考えております。

議題1の説明は以上でございます。

それでは、続きまして議題2、魅力発信・創出の取組についてご説明をさせていただきます。

資料2をごらんください。

まず、2ページですが、令和元年度の区の運営方針の中から、戦略の一つである「魅力あるまちづくり」の具体的取り組み等についてご紹介をさせていただきます。

まず、左側、区の魅力発信の取り組みですが、与謝蕪村や毛馬きゅうりなど区の歴史・文化の魅力を発信するとともに、人工砂浜の桜ノ宮ビーチで開催されるビーチバレー女子大会等の共催やさまざまなイベントの側面支援を通じて、民間活力による水辺のにぎわいづくりなどを進め、区の魅力向上につなげることを計画としております。

主な取り組みとしましては、ことし9月に開催されたビーチバレー女子大会では、地元の高校や保育士チームにもご参加いただき、地域交流プログラムを実施しております。また、今年度は新たな取り組みとして、専門学校との連携によるフェイスペイント体験や地元企業、団体との連携による共同募金つきラムネの販売を産学官連携イベントとして実施し、大会を盛り上げました。また、ことし5月に開催されたビーチフェスティバルでは、地引き網やビーチスポーツの体験など既存のイベントを今回初めて同時に開催することとなりまして、区のほうも広報等の協力を行っております。

次に、右側です。区の特色ある文化資源を活かした青少年育成の取り組みですが、戦前の世界的な音楽家貴志康一を初め区の特色ある文化資源を題材に、プロから作品理解や表現方法の指導を受け、地域の芸術文化に関する豊かな感性を持った青少年を育成することを計画としております。

主な取り組みとしましては、区内に5つある中学校の吹奏楽部、合唱部を対象に、事業者として選定されました大阪市音楽団が直接指導を行い、区民センターでの発表会を予定しております。この取り組みは今年度が2回目となりますが、昨年度は、写真にございますとおり区内のショッピングモールでの発表会を実施し、まちの中で区民の方に演奏を楽しんでいただくとともに、区にゆかりのある芸術文化を知っていただける機会となりました。

こうした取り組みのほか、下でございますが、その他として企業との連携事例を紹介しております。

まず、左側ですが、ことし8月に区がケーブルテレビの運営会社であるジェイコムウエスト大阪セントラル局との包括連携協定を締結しました。これを機に区政情報の発信などについて連携を深めているところですが、同じく8月にJ：COMの生放送番組で桜ノ宮ビーチや蕪村通り商店街の紹介など、都島区を特集した内容が放送されました。

右側ですが、平成29年11月に市が吉本興業との包括連携協定を締結いたしました。これを機に各区でも地域を盛り上げるためのさまざまな取り組みがされておりますが、中でも区住みます芸人は24区で展開されている事業で、当区での芸人の活用実績としましては、昨年度は23件、今年度は11月末現在で11件と、

地域でも徐々に定着しつつあります。また、来年1月には、桂文枝さんが区ごとの特色を創作落語に盛り込み披露する産地直笑祭を都島区民センターで開催する予定でございます。区民の方に多数参加いただけるものと考えております。

続きまして、3ページですが、ここでは、区内のエリアに特化した最近の事例の一つとして、区北部における魅力発信・創出についてご紹介をさせていただきます。

都島区北部は、古くは与謝蕪村生誕地であり、大川と淀川に接して豊かな自然と住宅街が広がるエリアであります。これまで鉄道駅のなかったこの地域に本年3月、JRおおさか東線城北公園通駅が開業しまして、今後、交通利便性の向上が期待されるこの機会をまちの活性化に生かそうと、地域でさまざまな活動をされている方々もおられます。

資料の図ですが、主な地域資源やスポットとともに、このエリアでの市や区、地域や商店街などの主な取り組みをその場所ごとに落とし込んでおりますので、それぞれを簡単にご紹介させていただきます。

まず、①の淀っ子まつり、それから③の大東フェスティバルは、地域によるイベントでございまして、それぞれの地域活動協議会が主催する地域ならではの恒例行事として定着をしております。地域の子供たちが多く集まり、交流できる機会となっております。

また、⑥の大東さくらまつりも地域によるイベントでございまして、こちらは新駅開業を機にことし初めて開催されたもので、城北緑道公園を活用して桜開花の季節に行われ、まちのにぎわいづくりにも貢献されております。

②のええとこ みとこ まちあるきは、区民ガイドが歴史、文化をめぐる案内をされる行事で、区の西北部の見どころを中心にしたコースも実施されております。大阪市でも、市内各地で実施しておりますO SAKAシティウォークというウォーキングイベントもありますが、今年度は⑨のとおり、鶴見緑地公園から蒲生公園までのコースの中で、蕪村生誕地の古碑が建てられている淀川河川敷や、毛馬閘門や蕪村公園などに面する大川沿いが新たなルートとして選ばれております。

なお、ええとこ みとこ まちあるきは都島区未来わがまちビジョン推進会議の取り組みとなっておりまして、⑦の都島クリーン作戦でも区役所との共催で、美しいまちづくりのため区内を一斉清掃する活動に参画いただいております。淀川河川公園もその対象となっております。

④の蕪村通り商店街では、空き店舗を活用して定期的にかかれるぶそん市のほか、毎年夏には商店街を踊りながら練り歩く蕪村おどりを実施するなど、地元商店街ならではのさまざまな取り組みが実施されております。

⑤のアートプロジェクト2020は、区役所が地域やJR、専門学校などと連携して、駅前の高架下に落書き防止及び魅力創出のアートペイントを実施するものでございます。来年3月の完成を目指して、現在、関係先との調整を行っております。

最後に、⑧のぶっちゃけ！都島ですが、本年1月に、新駅を生かしたまちの活性化をテーマに区が主催したトークイベントです。区政会議委員の寺川先生をファシリテーターに迎え、約50名の参加者の間で活発な意見交換が行われました。トークイベントの締めくくりでは寺川先生から、それぞれのアイデアを集め、一つ一つできることを積み重ねることが大切との意見を頂戴したところでございます。

以上、説明してまいりました魅力発信・創出の取組の今後の課題についてでございますが、一番下のところになります。恵まれた地域資源を生かし、さらに魅力あるまちづくりにつなげるため、区民の気運を醸成し、民間活力を生かすための仕組みづくりやサポートが必要というふうに認識をしております。本日は、そういった観点を含めまして、区の魅力発信・創出についての忌憚のないご意見をぜひ頂戴できればと考えております。

今回は初めての部会ということで、議論の素材として現状の取り組みや地域での新しい動きなどを中心とする資料とさせていただきますが、これらの内容のみにかかわらず、幅広いご議論をいただきたく存じます。

なお、参考資料といたしまして地域別の人口・世帯数などのデータもおつけしておりますので、そちらもあわせてご参照いただければと思います。

説明については以上でございます。

【寺川議長】

ありがとうございます。

きょうは、今ご説明いただいたわけですが、今までの区の取り組みでありますとか各地の取り組みについて全体的なお話をいただけたかと思えます。きょうは顔合わせの第1回でもあるということですので、それぞれの委員の皆様の率直なご議論をまずはいただいたほうがいいのかと思います。せっかく参加していただいていますから、私はこういうところに興味があるとかこういうふうに関心しているんだということをごくばらんにまず伺えればと思いますが、副議長は後にしますね。

では、早光さんからいきましょうか。

【早光委員】

今ご説明いただいた中でちょっと疑問というか、控えさせて総花的なんですけれども、例えば具体的取組の3-1-1の区の魅力発信で計画がいろいろありますが、元年度の予算が19万7,000円ということで、19万7,000円という予算ってここで何に使うのかなと。例えばポスターなのか、具体的に。予算が多いとか少ないとかいうことではなくて、19万7,000円で何ができるのかなということが一つ疑問と、いいですか、ずっとしゃべっていて。

【寺川議長】

少し途中でとめます。

【早光委員】

そうですか。

そこと、企業との連携ということで、J:COMといろいろ区政情報の発信というところで、これはまあいいんでしょうけれども、住みます芸人の活用というのが、吉本興業と市との提携というのは、いろいろ新聞等で拝見しているんですけれども、どういう効果が生まれてくるのかなと。やっぱり有名な人、例えば桂文枝さんとかでしたらちょっと引くんですけれども、今回、私どもも東都島フェスティバルに来ていただいたんですけれども、マダムはサウスポーでしたか、去年も来られている方とちょっとまた違ったですね、芸人さんが。そうすると、定着なのか、あまり関心を引かない場合があって、連携、提携ですの

で、呼んで来てもらうのはしようがないのかなと。ちょっとその辺の効果がどうなのというところを教えてくださいただけたら。規程じゃないですよ。どんな効果があったのか教えてほしいなということで、とりあえず2点、お願いいたします。

【寺川議長】

なるほど。ありがとうございます。

じゃ、先に聞いて……。はい。

【西岡課長】

区の魅力発信ということで、予算はこれで何ができるのかというところで、限られた予算ですので思い切った取り組みとかはなかなか難しいところはあるんですけども、先ほどおっしゃられたように、やっぱり広報経費というのが中心になります。ポスター作成であったり、そういったPRに係る事務的な経費がございます。それを最大限に活用しまして、区の魅力発信というところを取り組んでいるところでございます。

企業との連携ということですけども、住みます芸人のお話があったんですが。今年度、芸人が途中交代したということもあって、まだなかなかなじみが深くないところもあるのかなと思うんですけども、皆さん、これから伸びていく若手芸人さんがどこの区でも中心でして、M-1グランプリというんですか、そういったところに上位進出されているようなグループも出てきたりしておりますので、地域がそういった芸人を育てていくというか、そういったところでそれぞれの区が自分たちでそういう芸人さんを育てていくというような側面もあります。

いずれにしても、そういった芸人さんを地域のお祭りとかイベントとかで活用いただけることによって、大阪市全体といいますか、その地域を盛り上げていこうという、そういう趣旨ですので、これもやっぱり継続してこそ、効果というのがこれから発揮されていくのかなというふうに思っております。

【寺川議長】

いかがですか。

【早光委員】

だから、区で芸人さんを育てているということでもいいんですよ。彼らも一生懸命盛り上げてくれるので、東都島フェスティバルは私も主催者の一人で行っていたんですけども、盛り上げていただいていると……

【西岡課長】

そういうことですね。

【早光委員】

思っております。その一方、我々が芸人さんを育てていくという、おおらかな趣旨でよろしいですかね。

【西岡課長】

ウイン・ウインの関係といいますか、包括連携協定ですので、そういった吉本の資源の活用を我々もさせてもらいながら地域を盛り上げていくということで、その芸人がブレイクしていくと、それをまた区の……

【早光委員】

じゃ、その人たちがブレイクしたら都島を盛り立ててもらわなあかんということですよね。さっさと東京へ行かれると困りますね。

【寺川議長】

今その住んではる町、町会の方はご存じなんですか。

【早光委員】

いや、多分知らないと思いますよ。どこの地域とか多分知らないと思いますわ。

【寺川議長】

知ってはりますか。

【能勢委員】

知りません。

【早光委員】

だから、そこも欲しいところですよ。

【能勢委員】

住んでたことすら知らなかったです。

【早光委員】

例えば中野町、中野連合の中にいらっしゃるとか。

【寺川議長】

あまり特定し過ぎるのも。

【早光委員】

連合ぐらいただったら構わんのと違いますか。

【寺川議長】

もうちょっと、だから定着というか、まちとのかかわりがどうなっているのかなみたいなのは気になっていますよね。

【能勢委員】

ついででいいですか。

【寺川議長】

はい。

【能勢委員】

去年からことし、半分に減っているというのは。

【西岡課長】

まだこれは11月現在ですので、これから成人の日の集いとかいろんなイベントが予定されておりますので、これからふえて……

【寺川議長】

年末年始、新年度にいっぱいある。

【西岡課長】

新年会とかですね。

【能勢委員】

なるほど。そういうことですよ。

【寺川議長】

だから、このこと自体を知らない方が多いので、もう少し何かうまく積み重なっていったほうがいいの
でしょうね。

【能勢委員】

この活動というのは、住みます芸人の方がされる活動なんですか。吉本とか芸人さんが来て活動される
のか、区に何名住んでいらっしゃるか知りませんが、その住んでいらっしゃる方がされる……。

【西岡課長】

そこでいろんな面がございますけれども、それぞれ24区に、1人なり2人なりの芸人さんが決まっている
んです。都島区でしたらマダムはサウスポーというコンビなんですけれども、その地域からお祭りに来て
ほしいとかイベントに来てほしいとか我々がオーダーを受けましたら、吉本さんのほうにお願いして……

【能勢委員】

彼らが。

【西岡課長】

彼らが来て芸を披露してもらおうというような、そんな流れです。

【能勢委員】

区のどこでも行かれるわけですか。

【西岡課長】

区内の、はい。

【能勢委員】

区内の地域で要望があればどこでも行かれるということですか。

【西岡課長】

そうですね、はい。

【寺川議長】

初めに言われていた、ごめんなさい、3-1-1の予算は広報PRなんです、実質的な事業そのものは
別予算になっているということでしたか。

【西岡課長】

そうですね。

【大畑区長】

予算の詳細があれば……。ちょっとすぐ出なくても、また後で調べて。

【中尾課長代理】

魅力発信事業としましては、前にもちょっと出しているんですけども、大きくは、先ほどのビーチバ

レー女子大会などの周知の費用であったりとか、京橋のほうで魅力発信にかかわる周知の啓発事業であったりのところに事実上予算を計上しているところでございます。

【寺川議長】

では、事業費は別ですよ。

【中尾課長代理】

そうですね、はい。

【寺川議長】

西村委員、いかがでしょうか。

【西村委員】

今回この魅力発信・創出というのは、ターゲットとしては区内の住まれている方に……。対象のターゲットと目的というのがちょっとまだ私も不勉強な部分があって、それに向けて、やっぱり住んでもらう人をふやそうとかという話なのか、どういうところを目標として発信しているのかというところをちょっと物差しとして見るのに当たって共有したいなと思うんですけど。

【西岡課長】

魅力発信というのは、やはり区の運営方針で一つの柱として「明日に誇れるまちづくり」ということを掲げているんですけども、そのために、区として魅力、こういうものがあるんだということを区民の方に当然気づいていただいて、それを大事にしていきたいですし、またほかのところ、区外でも、都島区ってこんなにいいところだということ注目していただいて、都島区に将来住んでいただけるかもしれないし、区のファンになっていただくというのが必要なのかなと思っておりますので、外に対しても中に対しても両面があるのかなと思います。

【寺川議長】

住んでいる方もそうですし、外部に対しても区としてのメッセージを伝えるということですか。

西村さん、いかがですか。もっと踏み込んでいただいてもいいですけど。

【西村委員】

それぞれのやっぱり外部に向けての話と、内部では結構区政だよりですか、区の広報紙とかフェイスブックとかも入ってきたりするのかなと思うんですね。そっち側に向けては結構発信をされているんですけども、何か外に向けてという感じがあまり……。そういう区ではないのかもしれない。あまり観光観光していくような区ではないのかもしれないので、その辺少し、両方ももちろん獲得したらいいんだと思うんですけども、やっぱりうまく、中で住んでいて誇りを持とうというシティプライドみたいな話をつくっていこうという部分だとすると、内部にもうちょっと……。

やっぱり両方追うとなかなかあれなので、注力をしっかりしたほうがいいのかということ、それをきちんと物差しではからないとあれなのかなというのを……。これまでやられている中でどういうふうに見られておるのかなというのも、少しわかれば教えていただけたらと思います。

【寺川議長】

難しいですけども。

【西岡課長】

どちらかに注力したほうがいいのかなというご意見かなと思うんですけども、やっぱりネット配信とかいうのはそれこそ世界につながるメディアですし、どうしても外というのも意識して発信していかなくちゃいけない部分はあるのかなと思います。確かに、外からインバウンド的な取り組みということでは、区としてより、むしろ大阪市の全体の観光施策の中で取り組む話なのかなというふうに思っておるんですけども、区の隠れた魅力というか、そういう発掘であるとかコンテンツの発信というのは、やっぱり区役所を中心に地域の皆さんと一緒にやっていかないとできない部分なのかなと思っていますので、そういった視点での取り組みというご理解をいただけたらいいのかなと。

【寺川議長】

例えば、都島区のイメージというか、外部発信できているものというのはどういうイメージなんですかね。

【早光委員】

いいですか。

【寺川議長】

はい。

【早光委員】

北部のほうは、与謝蕪村の話、区役所の前にも書いていますけれども、すごくアピールしています。あまり、失礼な言い方ですけどもインパクトがない。ずきんとこない。ツインタワー、OBPというほうがものすごくインパクトが強い。例えばグランシャトーとかですよ。言われたらピンとくるというふうなインパクトの差がやっぱりあるんです。

私、ウォーキングが好きやから区内も歩くんですけども、鶴塚とかあるじゃないですか、史跡で。あれもいろいろ広報でずっと取り上げられているし、京街道もあっていろいろいいものはあるんですけども、何となく都島というと、都島の交差点よりもやはりこっち、南のほうのイメージをされる方が多いような気がします。

【寺川議長】

せっくなので、そのあたり皆さんどう思っているのかなと。

【西村委員】

外に向けてはそうなんです。多分京橋だとかあのあたりのイメージがあるんだけど、多分、大半の方はやっぱり普通に住まれているんです。正直、住みよい住宅地だし、力を入れている勉強だとかそういう部分のイメージは、私、ずっと大阪市内におるので、その中でいくとそういう文教に近いあれなのかなという……。

【寺川議長】

文教のイメージなんですね。

【西村委員】

私はあるんです。ただ、京橋は別なのでちょっと違いますけど。

【寺川議長】

なるほどね。蕪村のイメージはあまりない。

【西村委員】

私はもちろん知っていますけれども、なかなかみんなが知っているのかなというのはどうなのかなと思いますね。

【寺川議長】

なるほど。能勢委員、いかがですか。

【能勢委員】

私も、自分の住んでいる地域を中心にしか考えられませんけれども、中野町に住んでいると、どうしても大川の桜というのが一番自分の中では身近なものなんです。例えば大川の、公園としても今整備されていますけれども、何かいつも限定的なイベントというか、桜は桜、天神祭の船渡御は船渡御、シーズンを通して常に何かあるというものでは決してないですし……。

【寺川議長】

単発的なイベントが……

【能勢委員】

単発でぽんぽんとあるだけという……。それではやっぱり、地元の人にとってはいいのかもしれませんが、外部発信としてはどうかかと。

【寺川議長】

単発としか見れなくて、都島区、面としてはイメージしにくいという、そういう意味ですか。

【能勢委員】

だから、桜を見に来る、天神祭に来るということであって、決して都島区に来るというイメージではもちろんないでしょうし、あと、例えば旅行に行って住所を書きますよね。そうするといまだに「あっ大阪にも『としま区』ってあるんですね」と……

【寺川議長】

そうなんですか。

【能勢委員】

はい、ついこの間も言われたばかりなので。

だから、そういう点でもちょっと残念だなと思うのと、あと一番この資料をいただいて読んだときに、西村委員と同じように、誰に向けて言っているのかなというのをまず感じて、まちづくり・魅力というのは区民に言っているのか、外へ向けて言っているのかがもう一つ私もはっきりしないというのが、この資料を見ての第一印象でした。

【寺川議長】

いろいろ率直に言っていただいて。

【能勢委員】

すみません、率直過ぎたかも。

【寺川議長】

副議長、いろいろ言っていますが、まちの出身として。

【山田副議長】

まず、先にこれを見たときに、魅力あるまちづくりの魅力ってどういうことを指すのかなと疑問に考えて、ちょっと辞書等々を見て、要するに私、辞書もなかなか難しいことを書いているので、地域の中では楽しく明るく暮らせるそのものがその地域の魅力になるのかなと。魅力という言葉で聞かれると、何が魅力ですかと何かで聞かれても、考えるけれども、明るく楽しいまちづくりってどうしますかと聞かれたら、ピンと出てくると思うんですよ、言葉的に。

【能勢委員】

出てきますかね。

【山田副議長】

インタビューで聞かれて、中野連合さんのほうが楽しく明るいまちにするにはどういうことをされますかということと魅力あるまちづくりをするのはどうしたらいいですかとインタビューで聞かれたときに、どちらが答えやすいですかねと私は思う。言葉的には魅力ってすごくいいですよ。魅力的な女性というのはすごくいいんですけども、そんなところと全然また違うからね。

そやから、魅力ってどういうところかなと、難しい表現をしているなというのが一つと、それから資料2のところでは北部における魅力発信と言うけれども、じゃ、ほかの地域からここへ行くのに何に乗っていくのと。

【能勢委員】

思いました。

【山田副議長】

以前は赤バスだったじゃないですか。ほかの地域から行くのに赤バスが消えたら、乗り物といたら自転車とか歩いていく、それしかないんやね。ここの魅力をほかの地域の人が見ようと思ってもなかなか体験することができないんじゃないかと。もう少しこれを体験しやすいようなツールというんですか、何かあればね。それには、一つの方法としては、地域活動協議会を通して各地域のPR的なものもされていると思うんですけども、なかなか、自分のところの地域だけではすごく活発に動いているけれども、さっきおっしゃったように単発的に……。それをもう少し、区役所へ行ったら各地域のものがPRされているよと言うけれども、その各地域のものも何かPRできる方法、例えばJ：COMさん、ウエストのケーブルテレビですよ。こういったものを当初できたときはすごく見ていたんですけども、最近は見るともないんでね。

【寺川議長】

それは何ですか。

【山田副議長】

何十もあるもん。できたときはすごくPRがあって、何チャンネルかを合わせたら見れたよと。今はそういうものを見る時間的なものもなくなったし、見たいなという気も起こらない。一度、こんなのにつ

いては持ち帰って、みんなに何かの形で聞いてみようかなと思っているんですけどね。

【寺川議長】

今、確かに言われたように、どうやって行くねんみたいとかそれぞれが持っている魅力みたいなものとか、それは地域ではやっているんだけど、なかなかうまくつながっていないというようなことですよね。つなげ方、交通とか、歩くこともそうですし情報もそうですし、そこがまだうまくいっていない感じですか。

【山田副議長】

うちの地域としては、どうしても都島区の外れですからね。隣が城東区であり旭区であり。

【寺川議長】

外れというのは、でも魅力ですけどね。

【山田副議長】

だから、うちの親は内代にいてるんですけども、内代ってどういったものがありますかといったら、まず出てくるのは会社のシードさんしか皆答えられないですね。公園がありますよねと、大きい公園があるよというのはわかっているんだけど、やっぱり企業的なものから出てきたのであれば、シードさんですねと、昔からあるところなので皆よくご存じなんですけど。

【寺川議長】

どうですか。今まさに根本的な話も出てきましたけれども、みんなでまちづくり・魅力部会なわけですが、そもそも魅力とはどういうものを指すのか、それは内向きなのか外に対してなのか、それをどうつないでいくのかというような話が今出てきたかと思うわけですが、さあどうしていきましょう。

今お話がありましたけれども、まだまだ魅力が伝わり切れていない、誰に対して発信するのか、内と外も含めて考えていくことだと思んですが、そのあたりはどうでしょう。こんなのしたらどうかという意見でもいいですし、どうですかね。

【大畑区長】

一応、方針の前提として、ちょっと課長からは出なかったんですけども、僕、まだ4月に着任して半年なんですけれども、キャッチフレーズで「幸せになれるまち、都島区」というのを出しているんです。これは、今まさに皆さんがおっしゃったような魅力発信だとか、都島はどこの方向に向かっているかというのを一言でやっぱり言わないとわからないので、なので僕のほうで言っているのは、「幸せになれるまち、都島区」なんです。なので、どっちかといったらもう完全に中の人たちです、どっちかと言われれば。

ただ、中の人たちが幸せになっているのを外の人たちが見れば、都島に来たいな、こんな魅力のあるまちだったら住んでみたいな、あるいは訪れてみたいなというふうに思ってもらえるまちにしていきたいというところがあるので、ベースは中ですね。そのために、今先ほど西村委員にちょっとおっしゃっていただいたように、教育を今ベースに、まず中を中心に、幸せになれるまちということで教育力にまず力を入れて、教育に力を入れていけば、当然その子供たちが大人になったときに、またこのまちに住みたい、そこがベースになっています。

ただ、今また皆さんのほうから、いやそれだけじゃだめだから、もっと外部発信するにはこんなものが

欲しいとか、そんなのがあったらどんどん言っていたらなと思います。ただ、ちょっとベースがかけ違ってスタートしちゃうといけないので、ベースはそういうところからスタートというか、僕の思いは「幸せになれるまち、都島」なので、基本は、今住んでいる皆さんが幸せになれるまちというのを目指して魅力発信をしているということになります。

【寺川議長】

それは、山田副議長が言われた明るく楽しく暮らせるというのと近い……

【大畑区長】

そうですね。そのとおりです。

【寺川議長】

教育力のテーマも出していただいていますので、そういう大きな方針がありつつ、じゃ具体的にどういう取り組みをしているのかということなんでしょうね。

先ほどもあったように、やっぱり各地区の特性もありますし、それこそさっき言われました、魅力は何か、ちゃんと伝わっているのか、それが住民さんにも伝わっているのか、つながっているのかというところが結構重要なのかなと思ったんですが、そのあたりはいかがですかね。

北部の資料が出ていますが、これはどういう扱いで考えればいいんですか。資料2の右側ですけども。

【大畑区長】

これは、じゃ、僕のほうから。

これは、まさに今、話の中にも出てきたんですけども、やっぱり北側のイメージというのがなかなか強いイメージというか、魅力の発信ではインパクトがあるものがなくて、やっぱり都島というと京橋ですとか都島駅周辺のイメージですね、これは。外部の方のイメージがすごく強いんですね。今までやっぱり北のほうの魅力発信というのがおくれてきたというのは現実、あると思うんです。そんな中に新線が、せっかく新しい、ここに書いてあるんですけども、城北公園通駅という駅ができましたから、これを一つの大きなチャンスとして捉えて、北のまちの活性化というのはひとつこれから区政としても考えていかないといけないですし、また新しい、せっかく駅ができたので、このあたりをどうやったら魅力あるまちにしていけるかというのを皆さんの意見が聞けたらうれしいな、皆さんのアイデアなんか聞けたらうれしいなという思いがあって、ここの北部をあえて出しているという経緯なんです。

【寺川議長】

全体の区を見つても、魅力がなかなか伝わっていないという意味でいうと北部のこの場所がどうなっていくかというのはメルクマールになるだろうと。それをちょっと具体的に考えていくことで、全体の区の魅力も高めることができますかというメッセージですね。

【大畑区長】

そうですね。

【寺川議長】

という、皆さん、ことなんですけど、はいどうぞ。

【西村委員】

私、高倉なので、どっちかという真ん中ぐらいのところなので、北のほうに行く機会というのがやっぱり……。城北駅ができてから、新大阪やあっち側に行くときにすごく便利になったということで、行く機会はちょっとありますけれども、やっぱり資源を見たりだとかそういうふうな形でのあれというのは、同じ区内でもなかなかされない。それはもう多分、それぞれの連合同士だとかそうになっているんじゃないかなという気がするので、それをどういうふうにしたらみんなに知ってもらえるのかということころはあれですね。

【寺川議長】

なるほどね。

【西村委員】

何かそれぞれやられているような、もちろんこういうのはPRされて、多分載せられているんですけども、私の少なくともあれには見なかったなという感じになっているんですかね、その辺は。

【寺川議長】

そこですね、多分ね。

【能勢委員】

多分、広報とかで必ず告知とかはされていると思うんですけども、私も全然そこは……。多分、自分の住んでいるところ、広報を見ても、中野町の関係のあるところは見ても、ほかのところのエリアで何をしているかまでは、逆にここは違うからという形で飛ばしてしまう、目がいかなかったなというのは……。

【寺川議長】

例えば、今こうやって見はったらどういう感じですか。今はこんなのやっていたとか……。

【能勢委員】

こんなのやっていたというのと、最初に見たときには、あっ、こんなのやってるけども遠いから行けないという……

【寺川議長】

そういうことですね。

【能勢委員】

はい。というのがやっぱりありました。

【西村委員】

同じイベントをされているのでも、私、ビーチスポーツの大会、ことしの5月にやられていたやつは何となく情報が入ってきて行ったんです。同じように扱われているんだとしたら、何か皆さんの琴線に触れるようなコンテンツとしてもう少し磨かないといけないのか、発信のあれを変えないといけないのかというのがあるのかなと。

【寺川議長】

これ、ぱっと見はっておもしろそうだなという感じですか。

【西村委員】

公園や何やらとかあったりするというのがとかは魅力なんじゃないかなとか、あと、ぶそん市みたいな

のは何かお店をやっていたりするんじゃないのかなというの……。

【能勢委員】

そうですね。蕪村おどりとか、さっきのVTRでもおもしろそうだな、知らなかったと。

【寺川議長】

でも、行くかどうかはまだちょっと考えるというか、そうですか。

早光さん、どうですか。

【早光委員】

率直な意見ですけれども、地域の主な取り組みで、この幾つかの中は、もともと区がやらずに地活協とかまちづくりがやっていたものが多いですよ、僕が見たので。僕も自分でやっていますから。失礼な言い方、区が別に共催しなくて、もともとやっていたことが4つぐらいあると思うんですよ、僕。そこに何をバックアップされているのかなと、共催されるんやったらね。どんなバックアップをされるのかということと、これは蕪村通り商店街でいいんですかね。

【西岡課長】

はい。

【早光委員】

すみません。ここってもともと大東商店街ではないんですか。

【大畑区長】

そうですね。

【早光委員】

大東商店街で、本当に、私もよく知っているんですけど、見るものがなく城北通に抜けてしまうところなんですよ。そうすると、北部活性化でいくと、城北公園通駅と4番の商店街というものはすごいリンクしている話で、ここを何かもうちょっとわっとすればもっと明るくなる。やっぱり暗い印象が、これ、流れているからあまり言うとなんかおまえと言われますから、ちょっと暗いイメージの商店街があるなと。

【寺川議長】

たまたま、この委員の方にこの方はおられないので。

【早光委員】

そうなんです。

【寺川議長】

どういう機会があれば行きたくなるかとか、どういう機会があればつながれるかという議論はあるかもしれないですね。

【早光委員】

委員の金子さんもここにいらっしゃるので、意見を、どうされているか。前は街灯を遅くまでつけるとか、そういうふうなことを言われていましたけれども、それはまた経費がかかるとかいう話もされていたのを覚えているんです。やはりここと違うかなと。

この駅で、例えば御幸通商店街って駅から離れていますよね。そやけど韓流ブームに乗って活性化して、例えば、空堀は駅から近いかな。そういうこともあるので、もうちょっと何か、ガレージセールをすると、結局ガレージセールをしているということは商店街が弱っているということなんですよね、ガレージショップがふえてくると。だから、やっぱりここをもうちょっと、どうしたらいいかわかりませんが、いいんじゃないかなと。

【寺川議長】

駅もできたということがありますし。

【早光委員】

今まではなかったのですね。

【寺川議長】

そういう意味で、さっき区長が言われたチャンスとして……

【大畑区長】

そうですね。

【寺川議長】

じゃ、ほかのまちから、今みたいにご存じない方が多いという状況の中で、例えばこれがあつたらみんな行くのにな、逆にまたほかのまちにも行くかもしれませんので、そういう考え方で1回検討してみるのも、一つあるかもしれないですね。

【山田副議長】

1ついいですかね。

【寺川議長】

はい。

【山田副議長】

城北公園通駅ってJRができましたよね。この間、人から言われたんですけども、なぜこれを都島区の境界に、旭区とあるのに都島区というような何かの名前を……。地下鉄で谷町線でいったら2つ名前がついていますよね。一番多いですよ、2つ名前がついているの。ああいった方向で、なぜ都島区のエリアの名前がここにサブとして乗らなかったのかと。私も一、二回しか乗ってへん、降りたことはないのわからないんですけども、ここの城北公園通駅をおいたら蕪村のこういったものがありますよというような地名の案内、どこでも電車に乗ったら、近くに何々ありますね。そういったものはここでもPRされているのかどうか。

やっぱり乗らはる人も案外多いと思うんです、通勤で京都方面に行かへる人は奈良のほうから来て。じゃ、ここでそういったもの、看板を見たときに、あつ蕪村ってここにこんなものがあるんだなというところのPRの仕方、区としては、地域としては発信していったら一ついいかな。名前をつけるときも何かあつたと思うんですよ、もっとほかに。名前をつけますからこんなのないですかというような。なかったらこちらから、地域から発信していく、こういった名前をつけてくださいよとか。そういった発信もしていなかったように聞いているんですよ。

【寺川議長】

今もやっていない感じですか。

【山田副議長】

今もね。やっぱり取り組みが遅かったというのを言われたんですよ。

【西岡課長】

駅名は、駅自体は旭区の一応所在になっておりますので旭区のほうにちなんだ駅名になっているんですけども、JRさんとも、地域もまじって話をさせてもろうとしています。JRの都島の出入り口は蕪村口という名前をいただいているんです。

【山田副議長】

なるほどね。

【西岡課長】

これはなかなか、ほかのところではないところかなと。駅のホームにも蕪村生誕の地というような表記もされていますので、そういったところで都島区側の情報発信も駅の中で工夫していただいているというところですよ。

【山田副議長】

やっぱりそういったものが私どもの地域のほうに全然聞こえてきていないので、えっというところがあるのでね。蕪村という名前は知っていても、この駅が、城北というところでも、ほかの人が知ってはるのは、菖蒲があって公園があってということしか皆さんもね。大阪市の人はその辺しかわからないと思うねん。そこへ何かのサブとして「城北公園通駅（蕪村何とか駅）」とか、つけるときにね。タイトルにそういったものは載っているけれども、じゃそれを放送するとか何かするとか、外へ向けて発信するときにはこんなところなんですよと何かのPRも一つ、どこがしていくのという形もありますけどね。

【大畑区長】

今、一つ言えるとする、広報紙では結構蕪村のことはこれでもかというぐらい載せているんですが、問題は、じゃこれをどれだけ読んでいただけるかという、またそういう課題もありまして、そのあたりもまた逆に皆さんにも、こうしたらもっと読んでもらえるみたいな意見もあったらいいと思うんです。結構、区としてはホームページとか、特に広報紙では蕪村の特集なんかも取り上げたりとかしているんですが、ただなかなかまだ知られていないというところで、これをまだ読んでもらえていないという現実もあるのかもしれないですけども、そのあたりも難しい課題かなと思うんです。例えば、これは4月号ですけど。

【寺川議長】

だから、かなり充実していると思うんですよ。情報量もそうですし、かなり頑張っているのはわかるんですけども、西村委員なんかは、特にどういうふうに情報をシェアするかとか、集めてくるかというのを考えておられるかもしれないんですが。

【西村委員】

多分、広報紙は申請すると送っていただけますよ。

【西岡課長】

広報は全戸配付に現在なっています。

【西村委員】

あ、全戸配付になっているんですかね。なかなかそれを読むというのはなくて、多分フェイスブックや何やらとか、やっぱりSNSとかというので見はるのはあると思うんですけども、そこに行くかという
と行かないんですよね、なかなか。情報が流れてくれば見るんですけども、とりにはなかなか、蕪村だ
からといって行かないので、そこをマッチングさせる必要があるんだと思うんです。

ちょっと今これ、きょうも見てて思うのは、歴史資源だとか文化資源は載っているんだけど、例え
ば民間ベースのお店だとかそういう資源というのがあって、それは民間の人からも自分たちがPRをセッ
トすれば、民間のそういうお店の情報はみんな自分からとりにいきますよね。そことあわせてそういう情
報が流れてくるとか、そういうふうに組んでいけば、ここに書いてある民間活力という部分も少し……。
なかなか、どのお店を紹介するんだとかという、難しいのは多分そういう話があるのはあれなんだけれど
も、市の広報じゃない、たまに出ている何区かの分厚いお店が載っているような広告、ああいうのに載っ
ていると、少しお店の合間に見たりとか、そういう機会をうまいことつくっていいのかなという。

【寺川議長】

そうですね。だから、区とか行政の制度上の限界もあると思うんですけども、それを区が率先してや
るだけじゃない、地域が主体的にやれるペーパーとか情報共有とか情報を集めるとかという、これが多分、
魅力が一番つくっていけるポイントなのかなという気がしますね。行政は限界がありますよね。

【大畑区長】

そうなんです。今、西村委員おっしゃってくれたように、載せたいお店は山ほどあるんですが、A店を
載せれば、じゃB店はなぜ載せないんだということになるので、この広報紙では基本、絶対に載せられな
いんです。ただ、我々包括連携を結んでいます、J：COMさんとかは食べ歩きみたいな楽しいお店を
結構出している、いわゆる複合媒体というんですか、我々の広報紙で得るもの、それからJ：COM
さんみたいなもので得るもの、あるいは今、議長がおっしゃってくれたように、地域の何かそういう民間
がつくられる情報マップみたいなとあわせてうまく市民の方に伝わっていけば、もっといいものになっ
ていけるんでしょうけれども、委員の方がおっしゃるようにまだ断片的な状態なのかなというのは、すぐ
きょうお話を聞いていて感じます。

【寺川議長】

お店の拡散率ってすごいですよね。ツイッターでわっと広がって、知らないで何を並んでいるのかなと
いうこともありますけれども、もう少し、そういう民間ベースの情報ツールの支援とか、行政がそれをつ
くるのがしんどければ、民間のそういう動きをサポートする仕掛けがあったほうがいいのかも
もしれないですね。お店もそうですし、資源という意味でいうと地域のおもしろい会社があってもいいか
もしれないし、店舗とか人でもいいかもしれないですね。そういう人たちがもう少し表に出てきても
いいかもしれないです。

【能勢委員】

じゃ、やっぱり今の時代だったらインスタ映えするような。

【寺川議長】

まあね。そうですね。

【能勢委員】

ところがあればもっと効果があって、若い人たちが積極的にそこに行ってくれるような場所がもしあればと。自分がインスタしていないので、言うのも何なんですけど。

【寺川議長】

それも一つかもしれないですね。

【能勢委員】

はい。

【山田副議長】

いつか、区民まつりのときに地域の何かクイズでこの会社名が出ていたり、これはどこにありますかとか、そういったものが何年前にあったような気がするんですけどね。地活協主催で組まはったのと違うたかね。何年前、区民まつりのときにクイズとして。

【金森課長】

多分、2年前か3年前にまちづくりセンターさんがブースを出店したときに、9つの地域のクイズを。で、クイズの合格者の方については粗品をお渡ししていたというのをやっていたかと思います。

【山田副議長】

だから、そういったものを広報紙の中にちょっとどこかに1ページぐらい入れて、できるだけ企業からも、そういったものは宣伝になるんだから協賛金をいただいて、あんたのこの、もしするのであればこういうものを入れてよというところの、何かの形で出してもらってもいいかな。そんなもの、紙面的に無理なのか、あるいは行政的にも規制がかかってしまっただめなのか、それはわからないですけども、もし許せるのであれば各地域から幾らかのそういったものを出してPRしていただいて、発信していくのも一つの何かになるかなと思うんですけどね。

【寺川議長】

区長の宣言文に、やっぱり教育力というか地域の教育のこれはやっていこうというメッセージなので、それと魅力の活動をリンクさせるというのも一つ大きなやり方として、手法としては重要かなと思うんです。例えば、地域のそういう文化とか歴史とか魅力とか店舗とかというものを子供さんとかいろんな人たちが学ぶ場を、自然にまちの中で経験できたりとか体験できたりとか、そういうまちを知る機会と、世代を超えてつながれるようなツールがあってもいいのかもしれないですね、教育という。

【能勢委員】

そうですね。それを発表というか、ちゃんとフィードバックできるような場があって、子供たちが自分たちで何かしら調べたことをちゃんとアピールできる場があれば、なおいいんじゃないかと思います。

【寺川議長】

子供がやったことが自分の中で体験として地域の体験が積み重ねられて、それが自分の自信につながっ

たりとか、このまちのことを魅力に思う、愛着を持つというような、何かそういう経験があったらいいかもしれないですね。

もうちょっとですが、せっかくなので、これは言っておきたいというのはぜひ言ってください。

【早光委員】

いいですか。

【寺川議長】

はい。

【早光委員】

広報紙はものすごくよくなりました。僕、昔から読んでいたので。サイズを変えましたでしょう、A4のサイズについて、すごく昔に比べたら見やすくなって、購読者もふえているということは僕はプラスやったと思う。内容もものすごく読みやすくなった。

あと、歴代の田畑区長とか、きょうの何かという、あれは要るかどうかわかれへんけれども、ものすごく紙面はよくなっていると思います。

【寺川議長】

なるほど。あ、そうですか。よかったですね。

【早光委員】

前の紙面より、閉じて、手間は多分、製本する分高くなっているかもしれませんが、読者はふえていると、かように思います。

【寺川議長】

それはちょっとやる気が出ますね。

【早光委員】

すみません、もう一つあります。

区でやっているみやこ塾でしたですか、ありましたですね。塾を開催していますよね、学校でプロの講師を派遣してという、行政の予算で。そういうことをこの前私、中学校で聞いて、子供が帰ってくる時間が遅いので、何をやっているんですかと、9時とかに。と言ったら、そういう週2回塾を開催、区の。それが、実は保護司20人ぐらいの会議のときに誰も知らなかったんですよ。こんなええことをやっているのに、行政が区でね。区長がこういう教育に力を入れる、そういうことを知らない人が多いのはもったいないなと。もっとそれこそ広報、こういうことでアピールしたら……。予算書にも載っていましたですね。こんなええことはもうちょっとアピールされたほうがいいん違うの。すみません。

【寺川議長】

こういうものが何か、もう少しかかわった人がつぶやいて、それがいろんな人につながってというリアルタイムな世界になってもいいのかもしれないですね。どうしても広報紙とかこういうのだと期限が決められてくるので。

【大畑区長】

そうですね、一方通行になって、期限がね。

【寺川議長】

せっかくいいことをやっているのに、それこそ区の皆さんの発信の仕方、こんなやつぶやいてもらったら。

もうちょっと時間があるんで、それぞれもっとこれを言いたかったとか、これはテーマとしてあるんじゃないとか。今ここに載っているお話が多かったですが、それ以外でもちょっとこのテーマを取り上げてほしいとか。

【早光委員】

いいですか。

さっき都島区の魅力ということで、私は京橋に近いんですけども、便利である反面、交通の便がいい、あるいはいろんな利便性がある反面、犯罪と環境が悪い。要するに放置自転車であり、また吸い殻とかが異常にやっぱりポイ捨てが多いと。逆にそういうことが京橋とかこの地区の問題であると。利便はいいです。ただ、中野地区さんと比べると非常に汚いですよ、まちが。全体的にやっぱりごみが。我々町会ではとったりもしますけれども、やっぱり通行する人は入って出ていくだけですから、汚していくという事実があります。そういう問題もあります。

【寺川議長】

そういう課題もあると。

【早光委員】

あと、放置自転車ですかね。

【寺川議長】

利便性の逆……。はい。

【大畑区長】

せっかく担当者がいますので。

【松井課長】

すみません、担当しています松井と申します。

京橋におきましては、確かにおっしゃられるように、相当昔についてはそういう悪いイメージも結構あったんですけども、地域と商店街の事業者の方々と行政が一緒になって京橋の安全な、安心なまちづくりというふうなことを協議会を今つくって、放置自転車のお話が出ましたけれども、月2回程度はみんなで、建設局の自転車の対策課というところもありまして、そこと一緒になってその時間帯に放置している自転車を即時撤去するというふうな取り組みであったりとか、あと環境浄化ということで、京橋の商店街のところではみ出し看板とか出ているようなことで、安全に、やっぱり来てもらう人に通行していただくというふうなことを一緒に警察も入って取り組みしたりであるとか、あと、京橋の駅周辺においては平成27年2月から路上喫煙の禁止地区に指定されておまして、やっぱりなかなか知らない方が多いということで喫煙されているというようなことも、きっちり啓発をしていくことで、どうしても吸いたい方については駅周辺に喫煙所なんかを設置しておりますのでそこで吸っていただくとか、何とかやっぱりみんなが来やすいような、もう一回来たいなというふうなことを活性化としてやっていけたらなということで、

そういう取り組みは実際させていただいています。

ただ、なかなかその底上げをもっともっと図っていかなあかんというふうなことも一方ではご意見いただいているので、その辺は、少しずつではありますけれども改善もさせていただいていると思います。ご理解よろしくをお願いします。

【寺川議長】

よろしいですか。

【早光委員】

いや、理解はしていませんけれども、ただ、予算もあるし事業者のこともあるので、例えば禁煙地区は非常に偏っているな、狭いなと。ただ、商店街を喫煙にできない理由もあるんでしょうねとはわかりません。また、放置自転車がが多いということは京橋駅周辺に自転車置き場が少ないと、こういう土地の問題もある、それもわかります。理解した上で一歩ずつ進めていただいたら、魅力のあるまちになるのではないかと思います。

【寺川議長】

利便性のよさと観光、にぎわいとのバランスと、今の環境、安全面との話はなかなか難しい話ですが、これもテーマとしては重要なテーマですね。

京橋に関してはこれから大きな開発もありますので、今回のテーマはここではまだ早いと思いますが、大きな区としてのポテンシャルというか、どうなっていくかという中での魅力づくりが進んでいければなと思います。

もう時間が参りましたが、絶対これだけというのはありますか。

【山田副議長】

うち、いいですか、ごめんなさい。

【寺川議長】

はい。

【山田副議長】

私ども内代なんですけれども、この間から催しの都度アンケートをとっているんですよ。内代で皆さんがこれからも住みたいですかとかどうですかというアンケートをとったら、大体80%ぐらいの人が内代にはこれからも住んでいきたいと。よそへかわりたいですかというたら、かわるような希望の項目をつけるんですけれども、そこへ入ってこない。今のままだもいいし、これからも住んでいきたいというところで80%以上アンケートが返ってくるので、内代で今のやっているそのものをこれからも続けていけば、外へ行くことはないでしょうねと。ついに住みかに自分のところがなってくれたら一番いいかなと思っているんですけどね。

【寺川議長】

そうですね。ありがとうございます。

皆さんよろしいですか。もう一言。

【西村委員】

先ほど少しお話の出たイオンの跡地のあそこは、やっぱり今後、魅力をつくっていくのに当たって民間ベースでかなり動いていくので、普通ではできないことを区としても市としてもコミットしていく中で、地域と一緒に何かつくり上げていく魅力を、せっかくの機会、まだもうちょっと先やというのは存じ上げているのであれなんですけど。

【寺川議長】

エンジンの1個ですね。京橋を含め、あのあたりの大きな都島区のエンジンが1個あるということですね。あとは歴史とか文化とか景観とか、そういう幾つかのエンジンがこのまちにありますので、そのエンジンをどう動かしていくかということもあるかもしれませんね。

時間が参りました。きょうは皆さんにざっくばらんにいろいろご意見をいただきまして、ありがとうございました。ぜひとも、この部会では思ったことを言っていただきやすいようにしておきますので、またいろいろ弾を込めてきていただきたいと思います。

きょうの議論としましては、やはり魅力っていういろんなキーワードがあると思いますが、どのように誰に向けてどう伝えていくかということも非常に重要だと。それはやっぱり、区長が言われましたが、当然都島に住んでおられる方が中心だと言いつつも、外に向けても発信していく必要もあるし、逆に各町会とか地域の情報もなかなか伝わっていないということの中で、どうそれぞれの持っているまちの魅力が、それぞれが行き来しながら情報がどうつながっていくかということも大事だよねというお話をいただいたと思います。

そういう意味で、特に北部のことがここには出ておりますけれども、各区がもしあそこに行くとするれば、駅もできましたので、そこで具体的な事業とか取り組みが目に見えるようになってくれば、逆にまたほかのまちにも返っていきけるような、そういう提案にもなるんじゃないかなと思います。少し、議論だけではなくて、どうしても具体的な展開に持っていきけるようなご意見とかをまたいただければなと思います。

あとは、区長が言われている宣言文にもありますように、教育力、まちの資源、いろんな資源があります。それを見える化して、それをつなげ合わせる仕組みを特に地域の人たちが率先してつくっていく中で、地域をつなげていく。それが地域力とか教育力を高めていきけるような、そういう魅力あるまち、都島区というものが多分イメージされたのではないかなと思うんで、次回の部会では、もう少しそういうことについて具体的なご議論とかをいただければなと思います。よろしいでしょうか。

じゃ、ありがとうございました。

【中尾課長代理】

どうも、本日は議長、副議長を初め、委員の皆様方にも長時間のご議論をいただき、まことにありがとうございました。

それでは、最後に区長の大畑から一言ご挨拶をします。

【大畑区長】

きょうは長時間、皆さん遅くまでどうもありがとうございました。たくさん発言を本当にしていただいて、私自身もいろいろな気づきがありましたので、また引き続き部会のほう、寺川議長を中心に進めていただければと思います。お願いします。

やっぱりお話を聞いていると、課題に感じているということを思われていることは、僕が初めてこの区に来たときと同じようなことを皆さん感じられているなど。ただ、私自身も半年やってきて、できたもの、できなかったものというのがありますし、ちょっと説明しないといけないなというものもたくさんあると思うんです。その中から、今、最後に議長がおっしゃってくれたように、じゃ、まずこれをつくっていきましょうみたいな、何かこの部会でやっていくことが決まって、何か魅力発信を一つこの部会でつくりましたみたいなのができたらうれしいなと僕も思いますので、楽しみにしています。

どうぞこれからもよろしく願いいたします。

以上です。

【中尾課長代理】

本日はどうも、まことにありがとうございました。これで区政会議を終了させていただきます。